

町政を問う！

一般質問

議会を傍聴してみませんか？

手続きは簡単！議場前にある受付簿に名前を書くだけです。

ぜひ傍聴にお越しください。

※傍聴の際はマスクの着用をお願いします。ことがあります。



【令和5年第4回定例会日程（予定）】

12月	7日(木)	招 集 日
	11日(月)	一 般 質 問
	12日(火)	一 般 質 問
	13日(水)	常 任 委 員 会
	15日(金)	最 終 日

※日程は変更になる場合があります。

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間です。

今定例会では9人が登壇しました。

広報誌に掲載する内容は質問者自身が要約し、広報広聴特別委員が校正したものです。

一般質問の映像を配信しておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。



一般質問

また、会議録もホームページでご覧いただけます。



会議録

問

現庁舎周辺、坂下のメイン通り歩道を、将来もつと広くできるように、安兵衛通りから八二商店角までを現在の歩道から3mの建築制限を設けて、将来の歩行空間を、現在の2mほどの歩道を5mにするのと、若松市の中央通りのような街路ができるのです。

坂下町も将来は初市、お田植、夏



若松市鶴ヶ城通りの広い歩道

祭り、秋祭りの時に車道を塞がずに祭礼ができます。流し踊りの踊りの幅も十分確保できます。

今が千歳一隅のチャンスです。今でないとできません。

答

中心市街地に賑わいを創出するためにも、大変重要な路線の商店街に、将来にわたって多くの人を呼び込み、活気を取り戻すためにも、歩道空間の確保は有効な取り組みと認識します。

無電柱化を中心とした「まちなかウォーカーブル推進事業」の実現に向けて協議を進めていきます。



五十嵐 一夫 議員

庁舎前歩道、広い通りが必要だ！
有効な取り組みと認識

空家対策と図書館整備

図書館・資料館の整備は歴史遺産の保存の場としての役割が期待される

問

空家や老朽化住宅には、文献、書籍、絵画、写真、記録、美術品など貴重な歴史的遺産がある。貴重な資料が引き取り手もなく、取壊し時にはゴミとして処分されてしまいます。

歴史的遺産と保管施設としての考案から、そして坂下以西には大きな図書館がありません。この際旧坂下高校を歴史的遺産の保管と会津西部の図書館として県施設としての誘致か、町としての設置を提案します。

答

地域振興や文化の発展に資すると認識しています。旧坂下高校の利活用は県と協議中です。旧坂下高校はまちづくりを進めるうえで大きな資源です。振興計画後期計画作業で利活用方策を検討します。

これも質問

岡町賑わいに来町者を呼び込むのはトイレから。



横山 智代 議員

**ごみ減量化・リサイクルの
推進状況は**
総排出量削減に取り組んでいます

問 ごみ減量化の取り組みと「環境アプリ」の活用状況を伺う
町では、小型家電・古着・金属（鉄くず）などの各種無料回収に加えて、今年度新たに食器類や衣類の無料回収を予定しております。

答 また、生ごみ減量の推進や分別収集所、資源回収活動への助成等を行い、ごみの総排出量減少に取り組んでいるところです。広報ホームページ、イベント、出前講座等を利用して将来に向けて私たちが暮らす環境を維持するため、更なるごみの減量化・資源化を推進し、循環型社会を形成して参ります。

県もごみの減量化・環境への意識向上を図るため、令和3年4月から「福島県環境アプリ」の運用を開始、町も利用促進を図るため、チラシ設置、広報、ホームページ等で町民の皆様へ周知しております。アプリについても、出前講座やSNS等を活用し幅広く周知し、利用促進を図って参ります。



**子どもたちに「平和学習」を
平和に関する教育活動を進めてまいります**

問 「平和都市宣言の町」として子どもたちに「平和学習」をどのように行っているのか。

答 昨今の社会情勢や子どもを取り巻く環境の変化により、平和が大切なことだと認識しております。今後は、ますます国際情勢が変化の中で、子どもたち自身が、平和を築く一翼を担っていることを自覚しながら学んでいけるよう、平和に関する教育活動を進めてまいります。



蓮沼 文明 議員

町は社会福祉協議会に「障がい者福祉事業」を委託しているのか
委託は行っていません。早急に協議して参ります

問 本来、市町村社会福祉協議会は、「高齢者・障がい者の在宅生活を支援するために多様なニーズに対応する地域の福祉活動の拠点である」と位置付けられている。当町は、社会福祉協議会に対し、年間のような「障がい者福祉」に関する事業を委託しているのかを問う。

答 現在、社会福祉協議会に対して高齢者に関する様々な事業の委託はしておりますが、障がい者福祉に関しての事業委託は行っておりません。当町においても近年障がい者事業の必要性が高まってきていることから、今後、他市町村の取り組み事例等を参考にすることで、障がい者福祉に関する事業実施について、社会福祉協議会と連携し、早急に協議して参ります。



町社会福祉協議会
(町の福祉活動の拠点)

**信号機へ右折矢印灯設置を要望
要望書を提出いたします**

問 国道49号線塔寺バイパス東の信号機において、県道43号線入口で混雑時の右折レーン車両の危険性への苦情が多い。

答 この信号機は右折矢印信号が「右折矢印灯」の設置を要望する。なく、時差式信号でないため、塔寺方面へ向かう右折レーンの車両は、正面からの直進車が多いことにより急いで右折しようとする意識が強くなり、交通事故に繋がってしまうと考えられます。交通事故防止と渋滞緩和の観点から、右折矢印信号が必要と認識しておりますので、会津坂下警察署に要望書を提出し早期設置を強く要望して参ります。

これも質問
町民参加型スポーツを提案する町「ひきこもり問題」に対する町の見解及び対応策は



赤城 大地 議員

新たな中心市街地活性化基本計画を策定すべきではないか
今後策定の検討をいたします

問 国では中心市街地活性化法の見直しも行われており、新たな補助メニューも期待されている。この機会に町も新たな中心市街地活性化基本計画を策定すべきと考えるが見解を伺う。

答 町は平成16年度に中心市街地活性化基本計画を策定後、平成26年度からの計画は策定しておりませんでした。

国の動向を注視しながら、中心市街地活性化施策を体系化した基本計画を策定し、中心市街地の活性化をハード・ソフト両面で推進してまいります。

子育て施策の今後の展望を伺う
子どもの視点に立った施策が重要と考えます

問 町独自の子育て施策はどのような方向に進むのか、展望を伺う。

答 国は異次元の少子化対策と称し様々な施策を集中的に行う方針であり、町としても国と同様、



保育行政が親の代わりに務めることは決してできない

結婚・妊娠・出産・育児を一体的に支援する施策が必要と考えます。

しかし問題を抱える家庭は増加の一途を辿っており、家族や親子の繋がりの希薄さを感じるが多くなっており、子どもの愛着障害に起因すると思われる事例が増加傾向にあります。

支援を通して子どもと親の成長や自立につなげることや、子どもの視点に立った施策に重きを置く必要があると考えます。



小畑 博司 議員

持続可能な農業政策を展開せよ
魅力的で持続可能な農業を柱として進めます

問 生産資材の高騰や燃料価格の高騰が小規模農家も含め、担い手も直撃し生産意欲を奪っている。食糧自給率の大幅な向上と、持続可能な農業を確立するためにもすばやい対応が必要と考えるが。

答 農業を取り巻く環境は、農産物価格の低迷や物価高騰による所得の減少が大きな打撃となり、農業経営継続への不安や閉塞感が高まって来ていると認識しています。

町は農業が担う多様で重要な役割を認識し、経営規模を問わずすべての農業者に対し迅速かつ積極的に支援してきました。

今後はさらに農業を若者が職業として選択してくれる魅力的で、持続可能な産業として確立するために、環境保全型農業や有機農業、スマート農業を導入するなど、持続性の高い農法を柱に進めてまいります。

これも質問

岡春日八郎をもっと活用しよう。
岡住民が楽しくなる市街地づくりを推進しよう。

特定地域づくり事業協同組合の設立を
組合設立に向け検討します

問 新規就農においてキュウリやトマトの生産が増えてきているようだが、担い手の方々を支援するためにも、また、新規就農を魅力的なものとするためにも「特定地域づくり事業協同組合」の設立が必要ではないか。

答 園芸作物に限らず労働力不足は顕著であり、人材を確保するうえでも「組合」の設立は有効な手段のひとつです。さらに「組合」の存在は様々な業種への労働力提供が可能であり、町全体の課題解決にもつながる可能性が高いことから、近隣の先進事例の調査研究を進め、組合設立にむけて検討してまいります。





目黒 克博 議員

子どもの入院時、付添い者の負担を軽減できないか
付添い者の費用を負担軽減する制度はありません

問 子どもの入院時の付添い者の費用が実費になることから負担を軽減できないか。

答 「会津坂下町幼児及び児童医療費助成に関する条例」に基づき、医療保険の対象となる医療費の自己負担分について助成されておりますが、差額ベッド代・食事代の助成はなく実費負担となります。付添者に係る寝具レンタル費用・食料代等も医療保険対象外であるため実費負担となります。

問 ジェネリック医薬品の普及率の実態は。

答 国民健康保険での普及率は令和5年6月診療分で81・1％であり、県の医療費適正化計画目標値の80％を達成してはいますが、県内市町村国保平均である84・6％を下回っている状況です。医療費の増加は被保険者の窓口負担増だけでなく、国保税増にもつながるので、引き続き普及促進に向け使用勧奨や広報・啓発に取り組めます。

休日当番医の案内を広域でできないか

問 変更は郡医師会及び管内7町村での協議が必要です

答 当番医に両沼郡医師会のみを記載しているが、「会津若松・喜多方」の医療機関、当番医を載せることはできないか。

問 当番表は委託先である両沼郡医師会が協議の上作成し、各地区へ配布しているため、内容の変更については郡医師会及び管内7町村での協議が必要です。

令和5年度 休日救急診療当番表

日	時間	診療機関	当番医
10月1日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月2日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月3日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月4日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月5日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月6日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月7日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月8日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月9日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月10日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月11日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月12日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月13日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月14日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月15日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月16日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月17日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月18日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月19日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月20日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月21日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月22日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月23日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月24日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月25日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月26日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月27日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月28日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月29日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆
10月30日	18:00-21:00	喜多方市立総合医療センター	田中 健
10月31日	18:00-21:00	会津若松市立総合医療センター	佐藤 隆

両沼郡医師会で発行する
休日当番医表

これも質問

コロナ感染対策について
両沼町のゴミ管理について



渡部 正司 議員

広報・広聴をどう考えているか
ご意見を施策に盛り、状況を発信する行政運営の基盤です

問 広報・広聴は住民と行政の連携を活かす鍵となる。現行の広報・広聴の課題への方策は何か。

答 「住民の声」などのご意見の件数が少なく、「町への関心の希薄さ」を実感している事から、今後は定期的に回答を広報誌に掲載し、皆様の声に対し、町がどのように課題の解決を図るかを明確にお伝えし情報発信不足について解消してまいります。

問 庁舎建設を巡っては、町側が伝えたいことが町民に届いているか疑問が残る。地区懇談会では参加者が少ない現状で、より多くの参加者を得る工夫は何か。

答 新庁舎建設について懇談会を開催してまいりましたが、効果的なタイミングでの周知ではなかったため、参加者が少ない結果となりました。今後、懇談会等開催のお知らせ等は、広報紙、情報かわら版、SNS等あらゆる媒体を活用し、開催直前まで徹底して周知してまいります。

問 新たな広聴システムのひとつとして、町長が聴いてくれる雰囲気を取り入れる考えはないか。

答 現状のモバイル端末の普及状況を考えて、今後さらに携帯電話等を活用した広聴の機能拡充が求められることが予想されます。提案の通り、新たに、メールに愛称をつけ周知し、親しみを持ってご意見をいただける環境を整えてまいります。



役場入り口の電子案内広報板



佐藤 宗太 議員

**景観を活かしたまちづくりについて
の考えは**
電線地中化を含め「会津坂下町中心市街地活性化基本計画」に盛り込みます

問 勅宣宮諏訪神社正面に1km以上にわたり拓けている商店街の通りは、全国的に珍しい。この地の利を活かしたまちづくりの考えは。

答 かつての宿場町の面影を残す貴重な観光資源であり、全長1・3kmに及ぶ一直線の通りは全国的にも珍しいものであります。

また、将来的に電線地中化を実現させるために次年度策定予定の「会津坂下町中心市街地活性化基本計画」に盛り込み福島県会津若松建設事務所へ要望してまいりたいと考えております。



勅宣宮諏訪神社裏から見える
ばんげ夏まつりの打ち上げ花火

問 役場裏の旧越後街道は、通り沿いに歴史的な寺院が建ち並び、風情がある。この地の利を活かしたまちづくりの考えは。

答 北裏通りには5つの寺院が立ち並び、仏都會津を代表する地域のひとつであります。また、寺院そのものが歴史的建造物であることに加え、墓所もあり、文化遺産としても優れた観光資源であると認識しています。一方、道幅が狭く徒歩で散策するにも不便を来す恐れがあるため、側溝の蓋掛け等も計画的に進めてまいります。

景観を生かした市街地活性化について、「10年後・20年後の会津坂下町を考える会・市街地活性化部会」で検討していただけるように提案してまいります。

これも質問

高齢者が生きがいを持って生活できる地域づくりについて



物江 政博 議員

**中学校の部活動地域移行を問う
地域移行のための環境整備に
取り組みます**

問 当町において部活動地域移行の進捗状況は？
令和5年1月に保護者や各種スポーツ関係団体、中学校代表などから構成される「会津坂下町部活動検討委員会」を立ち上げ、地域移行に向けた協議を重ねてきたところですか。

答 協議内容を元に、まずは令和5年度途中から一部種目の地域移行の開始に向けて、休日の運動部活動の地域移行を実施するためスポーツ団体で受入可能な競技を1つまたは2つ選定すべく協議を行っております。

「部活動の在り方に関する方針」



変革を待つ中学校部活動

や「地域クラブ活動に関するガイドライン」を定めたところであり、地域移行のための環境整備を進めてまいります。

**公務員の副業について
地域貢献活動に取り組みます**

問 今後、この働きかけはどのように発展すると予想するか。

答 公務員の兼業は地方公務員法において「業務遂行に支障の無いものであり、任命権者の許可を受けなければならない」とされておりますが、国の「未来投資戦略2018」において、「公益的活動等を行うための兼業に関し、円滑な制度運用を図るため環境整備を進める」との方向に転換されました。

本町では昨年からは職員に限定し、農業支援活動に取り組んでおります。また、公務員の副業は、全国的に活動範囲が様々な業種へ広がってきていることから、本町職員においても、地域貢献や公共性の高い他業種での副業が可能であると考えております。